

授業科目 がん治療看護学

| 【担当教員名】 手島 美子 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 看護 |
|--|--|--------------------------------|--------|----------------------|
| | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |
| 【カリキュラムポリシーとの関連性】 | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
| ◎ | | | | |
| 【概要・一般目標：GI0】 がんの発生および死亡の動向に対する国の対策をふまえ、がんと治療に伴うがん看護の特徴を理解し、がん患者を基本的看護、がんの予防、早期発見の必要性を理解する。 がん治療に伴う倫理的問題を理解し、がん患者の病期の変化に伴う治療と病状や苦痛・苦悩を理解し、患者・家族のQOLの維持・向上をアプローチする必要性を理解する。 | | | | |
| 【学習目標】 1. がんの特性と患者の治療に伴う看護を理解する。 2. がん患者の理解とQOLのアプローチを理解する。 3. がんの発生、死亡の動向に対するがん対策を理解する。 4. がん予防・早期発見活動の必要性を理解する。 5. がん治療として方法による作用、副作用と倫理的問題を理解する。 6. がん患者・家族の治療に伴う援助の必要性を理解する。 | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | SBO番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | がんの特性と患者の治療・看護の理解 1) がんの動向 2) 病態の特殊性 3) がん医療及び治療の特殊性 4) 心理的・社会的特徴 5) がん治療におけるチームアプローチ | | 1 | 講義 |
| 2 | がん患者の基本的看護 | | 2 | 講義 |
| 3 | がん患者とQOLと緩和ケア | | 2.3 | 講義 |
| 4 | がん予防 早期発見活動 倫理的問題 グリーフケア | | 4 | 講義 |
| 5 | がん治療に伴う看護 1) 手術療法の患者の看護 | | 2.5 | 講義 |
| 6 | 2) 化学療法の患者の看護 | | 5 | 講義 |
| 7 | 3) 放射線療法の患者の看護 | | 5.6 | 講義 |
| 8 | 4) がん患者・家族の治療に伴う援助 5) がん患者の痛みとその援助 | | | 講義 |
| 【使用図書】 | | | | |
| | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | | | |
| 参考書 | | | | |
| 必要時 資料を提示する | | | | |
| がん患者の看護 | | 監修 氏家幸子 | 広川書店 | |
| がん看護学 | | 大西和子、飯野京子 | ヌーベル広川 | 2011・3,150円 |
| 癌性疼痛 | | 花岡一雄 | 勝誠堂出版 | 9,450円 |
| その他の資料 | | | | |
| 【評価方法】 出席・レポート・定期試験で評価する レポート評価 20% 定期試験 80% | | 【履修上の留意点】 参考書を活用し、自主的に学習する。 | | |